

喜界町



議定だより

181号

令和2年10月20日発行



写真-コロナに負けない若い力(喜界中運動会)



主	決算審査特別委員会委員長報告	2
な	常任委員会委員長報告	7
内	一般会計補正予算	9
容	一般質問に2名が登壇	10
	編集後記	12



発行/喜界町議会 編集/議会広報委員会

〒891-6292 鹿児島県大島郡喜界町湾1746番地

TEL:0997(65)1115・FAX兼用

決算規模、町民一人1,079,481円 前年度比114,865円増

令和元年度決算審査認定

令和2年第3回定例会は、8月27日から9月11日まで16日間の会期で開催しました。初日は、議長による諸般の報告、一般質問（議員2名登壇）、報告3件があり、令和2年度一般会計補正予算・特別会計補正予算、議案6件については各常任委員会に付託しました。物品売買契約の締結について3件は採択されました。

令和元年度喜界町一般会計及び特別会計の決算認定については、決算審査特別委員会に付託されました。最終本会議には、令和2年度一般会計補正予算・特別会計補正予算、発議3件を原案のとおり可決し、決算審査特別委員会に付託された令和元年度一般会計及び特別会計の決算については、9月3日・4日の2日間審査し、全会一致で認定すべきものと決定しました。

決算審査特別委員会委員長報告



委員長
上間 一寛 議員

本委員会は、審査方針として、決算認定制度の意義を十分理解した上で、本会議に提出されました歳入歳出決算書、主要施策の成果に関する調書及び監査委員の決算審査意見書を参考に、9月3日、4日の2日間、執行部の出席を求め、審査の着眼点として、予算が議決した趣旨と目的に従って、適正に、そして効率的に執行されたか、それによってどのように行政効果が発揮できたか、それから見えて、今後の行財政運営においてどのような改善工夫がなされるべきかを主眼に置き、審査を行いました。

一般会計

●認定第1号、令和元年度喜界町一般会計歳入歳出決算について、歳入決算額77億5,481万円、歳出決算額75億1,102万7,000円で、歳入決算額から歳出決算額を差し引いた形式収支額は2億4,378万3,000円となり、翌年度に繰り越すべき財源7,230万2,000円を差し引いた実

質収支額は1億7,148万1,000円。実質収支のうち、基金繰入額は8,600万円。

◇歳入決算額について、前年度対比2億8,018万6,000円、3.7%増。増加した主なものは、繰越金3億3,806万3,000円は前年度比304.1%の大幅増。県支出金2億3,108万4,000円は前年度比37.2%増。減少した主なものは、繰入金4億7,996万2,000円は前年度比95.2%、国庫支出金1億3,642万2,000円は前年度比10.9%の減。

◇町税について、調定額5億4,888万1,000円で、収入済額5億1,860万7,000円は徴収率94.5%。町税は歳入における最も重要な財源であり、住民からすれば、義務として納入すべき公的負担です。前年度比0.5%の増。未納者件数は3,428件で、収入未済額が2,632万円となっており、町営住宅料滞納分含め、43件、891万9,000円をはじめ、各種未納額合計3,667万1,000円となっています。期限までに納入した住民との間に不公平を生ずることになり、加えて、その年度に歳入欠陥を生じ、財政運営に支障を来すこととなります。前年度から繰り越された滞納分の徴収実績とも併せて十分検討していただきたい。不納欠損額は395万5,000円となっており、ほとんどが滞納処

分できないケースで、地方税法上、消滅時効による処分になります。安易に時効成立にならないように努め、公平性を確保し、町民の納付意欲を阻害しないよう、十分留意していただきたいと思えます。

◇自主財源と依存財源の構成比は、自主財源14億5,611万円、構成比18.8%、依存財源62億9,870万円、構成比81.2%となっております。依然として国、県に大きく依存する財政構成となっております。

◇歳出決算について、歳出の対前年度比は6億6,514万4,000円、9.7%の増となっております。増の主な理由は、農林水産業費3億1,325万7,000円は対前年度比39.5%で、強い農業づくり交付金事業によるものと、税制費2億3,924万2,000円、24.2%は一般廃棄物整備事業によるものです。一方、減の主な理由は、災害復旧費4億4,525万6,000円は対前年度比78.8%、平成29年豪雨、平成30年台風災害復旧事業によるものと、消防費4,001万円は前年度比19.3%、消防自動車整備事業によるものです。

◇性質別歳出について、義務的経費24億7,781万7,000円は構成比33.0%。投資的経費21億8,803万3,000円は構成比29.1%となっております。

◇不用額について、1億6,649万5,000円は、執行率の低い衛生費、災害復旧費、農林水産業費は繰越事業によるもので、最

少の経費で最大の効果を上げる原則にのっとり効果的に執行されているとの認識で、妥当であると思えます。

◇地方債について、一般会計現在高69億5,473万1,000円、特別会計現在高39億3,567万8,000円、合計108億9,040万9,000円となっておりますが、過疎債、辺地債等の交付税で見返りのある有利な地方債の借入れを積極的に行っており、評価するものです。

◇財産に関する調書及び財産管理について、公有財産、有価証券、物品、債権、基金については、いずれも適正に管理されていると認められます。

◇基金の運用状況は、目的に従って適正かつ効率的に運用されており、今後とも基金の設置目的に沿った効率的運用に努力してまいりますと思えます。肉用牛導入基金の運営状況は適切に運用されていますが、滞納分の回収にも努めてまいります。

【質疑の主なものについて】

質疑

交通安全対策費の原材料費について

答弁

要望のあった箇所（ロードミラー等）は警察などと協議しながら順次対応している。今後とも継続して整備する。

質疑

諸収入の雑入で、都市部と地域をスポーツで結ぶ関係拡大事業助成金について

答弁

一般財団法人地域活性化センターによる補助事業で、スポーツを通して交流人口の増につながることを目的で、スギラビーチで行われたヨガ体操、ランニングをジョイントしたイベントである。

質疑

ふるさと寄附金事業の納税額が大幅増であるが、今後の取組について

答弁

ふるさと納税については、1名の職員を配置し、返礼品を増やしている。平成30年度は26品目であったが、平成31年度は75品目が増えていく。今後は、システムを改修して事務の簡素化を図り、身の丈に合った形で取り組んでいく。

質疑

地域おこし協力隊費について

答弁

当初2名の募集であったが、サンゴ礁関連の1名であり、今後は、サンゴ研究所と協力して、ジオパーク関連で1名、観光物産協会の1名を募集している。また、農業振興課からの要望も検討している。

質疑

水産物加工施設整備について

答弁

プレハブ式の簡易加工施設で、ソデイカや魚類を加工して販売している現在はソデイカや夜光貝の加工品をふるさと納税の返礼品としており、今後はHACCP(安全を確保する管理手法)等の研究会もあるので、漁協の職員も参加して、返礼品の数を増やしていきたい。

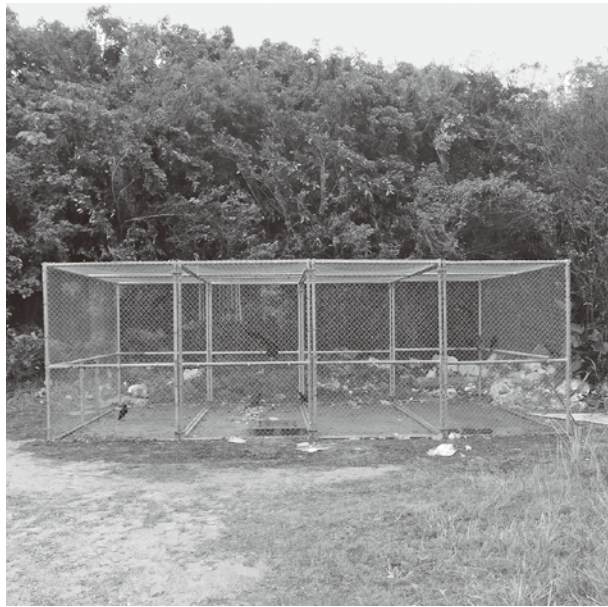


質疑

農業振興課鳥獣防止対策事業費の実績と効果について

答弁

粗大ごみ置き場周辺2基の効果が出ている。荒木と佐手久にも設置しているが、荒木の捕獲実績が上がっていないため、移動式は場所等を検討している。



◇財政運営について、実質収支は財政運営の良否を判断する重要なポイントで、実質収支が黒字であるということが必要な条件であるが、実質収支額1億7,148万1,000円で収支比率4.6%は望ましい剰余であると考えられます。

◇弾力性について、経常収支比率89.1%は前年度比2.7%増と高い水準にとどまっております。財政構造の硬直化から抜け出せない状況です。目安としては75%以下が望ましい数値です。

◇積極性について、人口1人当たりの決算規模等により推測できません。一般会計の人口1人当たりの決算額は107万9,481円で、前年度比11万4,865円の増となっております。人口1人当たりの投資的経費の決算額は28万4,180円で、前年度比9万1,468円の増となっています。

◇計画性、弾力性、積極性の三つの観点から分析し、財政運営では実質収支の均衡が必要条件ではあるが、現在の社会の変化に対応し、行政需要に應える弾力性のあるものでなければなりません。そのためには経常収支のバランスが確保されなければなりません。行政内容が実質的に町民の福祉向上のために適切な行政水準を保つことが、財政運営の基本であると考えます。今後とも、有利な財源確保をはじめ、計画的に効率的な財政運営に最大の努力を望むものであります。

特別会計

●認定第2号、令和元年度喜界町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について、歳入総額10億4,016万1,000円、歳出総額10億5,23万3,000円。実質収支額は3,492万8,000円。

◇国民健康保険税の決算状況は、調定額2億591万円で、収入済額は1億6,218万9,000円で、徴収率は78.8%。令和元年度の世帯数は1,472世帯で、被保険者

は2,230人、1世帯の保険税は9万2,861円で、1人当たりの保険税は6万1,297円。世帯及び被保険者は減少傾向にあるが、保険税は農業所得の減と社会保険への加入者増により減額となっています。収入未済額は4,110万1,000円で、不納欠損額は262万円となっています。保険税の収入未済額は多額に上ることから、さらなる徴収努力を望みます。

●直営診療施設勘定について、歳入歳出決算額2,639万6,000円で、差引き額ゼロ円で形式収支となっています。

◇平成26年7月から診療日数を限定的に再開し、現在は月2回、8日間診療しており、延べ患者数は1,740人で、1日当たり18名。一般会計からの繰入額も減少傾向です。

●認定第3号、令和元年度喜界町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について、歳入総額9億491万4,000円、歳出総額8億7,100万円。実質収支額は3,391万4,000円。

◇介護保険料は、調定済額1億6,713万7,000円で、収入済額は1億5,354万7,000円で、徴収率は91.9%となっています。収入未済額1,218万9,000円で、年金から天引きができない普通徴収分については、さらなる徴収努力を望みます。今後とも介護予防策に努め、住み慣れた地域で安心して暮らしていただけるような事業運営を望みます。

●認定第4号、令和元年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について、歳入総額9,786万1,000円、歳出総額9,687万7,000円。実質収支額は984万円。

◇原則75歳以上が加入する医療保険で、窓口での個人負担は1割で被保険者数は1,666人。

●認定第5号、令和元年度喜界町老人福祉施設事業特別会計歳入歳出決算認定について、老人福祉施設は平成31年度4月より民営化されており、本年度決算は残務処理の分で

◇歳入歳出総額それぞれ2,530万7,000円。個人負担金26万8,000円が未納となっており徴収整理をお願いします。

●認定第6号、令和元年度喜界町屠畜場事業特別会計歳入歳出決算認定について、歳入歳出決算額それぞれ300万3,000円。

◇事業収入37万6,000円で、前年度比18.1%の減、豚16頭、ヤギ117頭で、そのうち自家用59頭、業務用58頭分の使用料です。

●認定第7号、令和元年度喜界町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について、歳入総額8億2,588万1,000円、歳出総額6億2,232万5,000円。実質収支額は2億355万6,000円。

◇令和2年度より公営企業会計へ移行するため、歳入予算で大幅超過額、歳出で多くの不用額が発生していますが、財源確保のための処置です。

●認定第8号、令和元年度喜界町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について、歳入歳出総額1億3,055万1,000円。

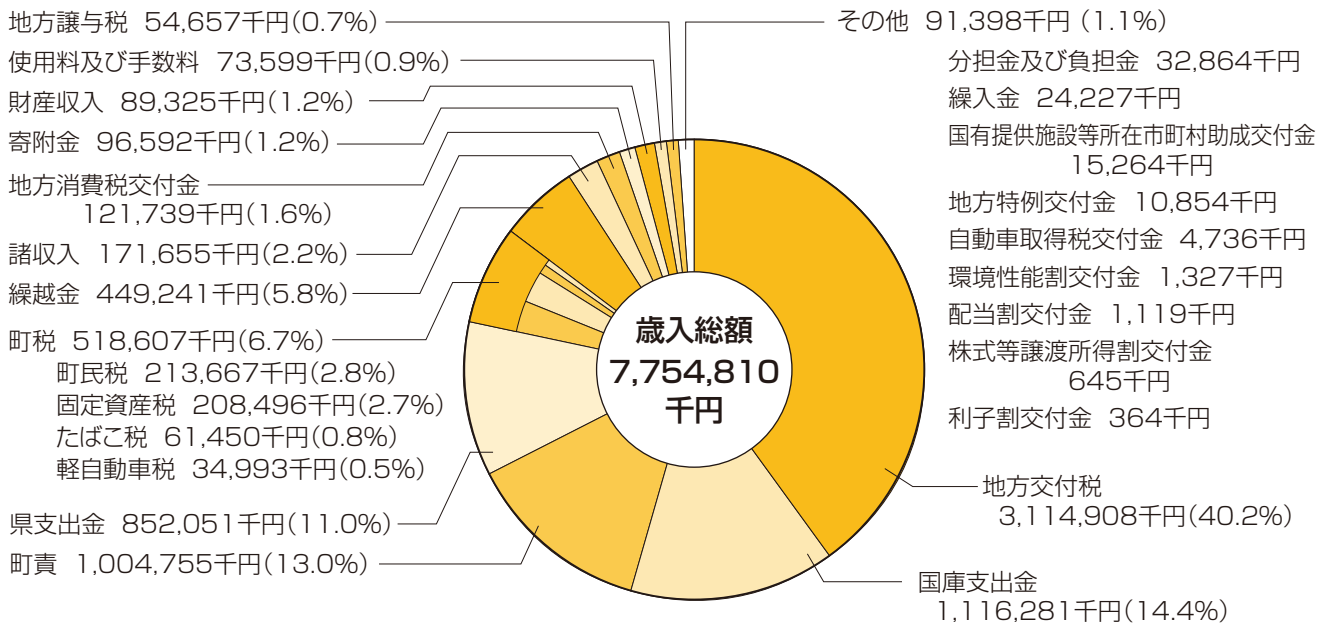
◇事業実施地区の荒木、城久、志戸桶地区の接続率は47.7%です。加入率の向上を図り、安定運営に努めてください。

●認定第9号、令和元年度喜界町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について、歳入歳出総額1億6,172万7,000円。

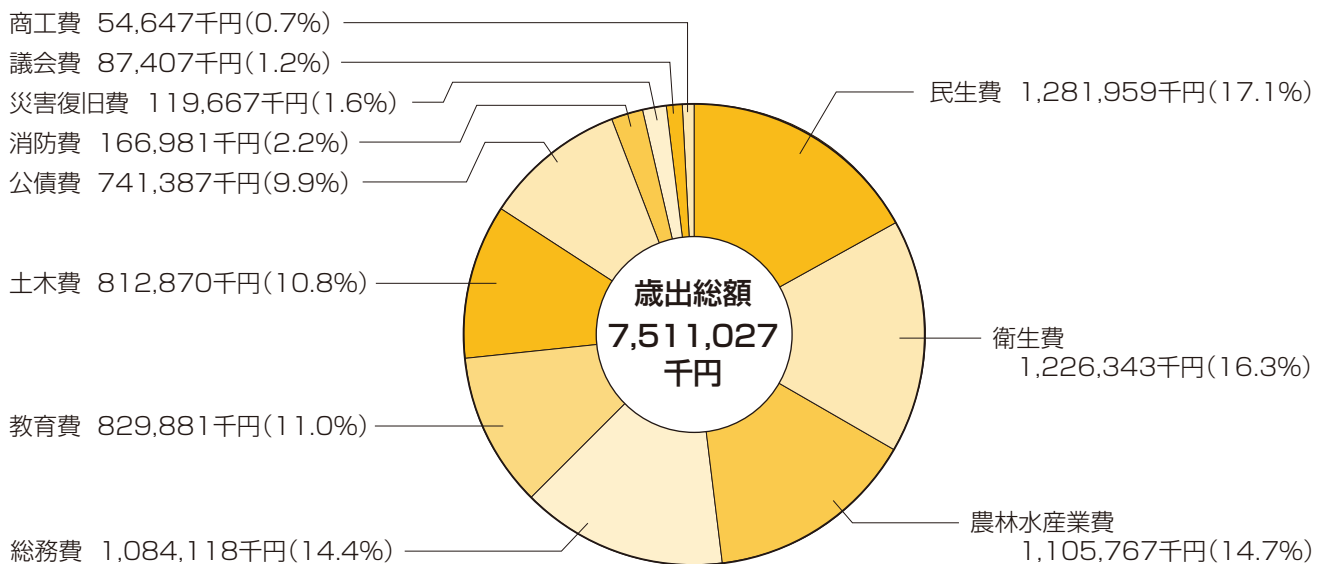
◇事業実施地区の湾、赤連、中里、池治地区での接続率は59.2%です。使用料の徴収率が低下しているため、未納解消に向け、また、加入率の向上を図り、健全経営に努力してください。

本委員会は認定第1号、令和元年度喜界町一般会計歳入歳出決算認定についてから認定第9号、令和元年度公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定につきまして、財政事情の厳しい中、収支の均衡ある財政運営ができていて、限られた財源の中で各種事業が推進されており、成果を収めているものと認め、討論なく、審査の結果、いずれも的確と認め、全会一致で認定するものと決定いたしました。

◆ 歳入項目別決算額



◆ 歳出項目別決算額



《主な事業紹介》



喜界中施設改修工事
喜界中学校(1・2学年校舎)
1億480万円



農地・農業用施設
災害復旧事業
小野津ムチャカナ公園下
9002万円



農業基盤整備促進事業
支援センター前農道
3797万円



一般廃棄物焼却施設
整備費(継続費)
クリーンセンター
5億2822万円

常任委員会委員長報告

総務文教常任委員会



総務文教常任委員長 榮哲治

8月27日、本会議において当総務文教常任委員会に付託された議案第44号、令和2年度喜界町一般会計補正予算（第4号）の当委員会分について審査が終了しましたので報告いたします。

当委員会は、8月28日、委員全員出席の下、委員会日程を1日間と定め、審査に当たっては担当課長の出席を求め、慎重に審査を行いました。補正予算は、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1億415万1,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ82億2,946万4,000円とするものです。

《総務課所管分について》

○歳入の地方交付税は4,775万2,000円の増額。

○情報無線施設管理費50万円の増額は、百之台中継局の修繕と戸別受信機修繕料。

《消防所管分について》

○非常備消防費、旅費326万7,000円の減額は、コロナの影響により、消防団員の大島地区消防操法大会が中止になったため。

《企画観光課所管分について》

○歳入のふるさと寄附金1,375万2,000円の増額は、前年度対比、件数で463%、金額で275%の伸び率。

○加工販売施設運営費の増額は、軟水器等の修繕料53万5,000円。人員削減により敷地内の草刈り等を、シルバー人材センターに依頼する手数料40万8,000円。

○観光費の需用費、92万7,000円の増額は、ムチャカナ公園の浄化槽の入替え。役務費の26万円はムチャカナ公園のガジマル等の伐採に係る手数料。

○委託料の1,140万円は、自然環境施設整備事業の採択を受けするための基本設計委託料で、空港臨海公園430万円、総合運動公園810万円、国立公園遊歩道350万円、池治海水浴場150万円、その他400万円、合計2,140万円、当初予算1,000万円との差額分の増額。

○観光費の需用費、92万7,000円の増額は、ムチャカナ公園の浄化槽の入替え。役務費の26万円はムチャカナ公園のガジマル等の伐採に係る手数料。

質疑

志戸桶海水浴場のトイレ解体について

答弁

集落の要望で当初予算に組み入れていたが、解体して現在のところ新たに建てることはできないため、

道路を隔てた共用地に建て、集落の管理ということで町として最終確認をしたところ、集落としては管理できないということであった。

《町民税務課所管分について》

○総務費国庫補助金3,718万円のうち638万円は戸籍住民関係補助金で、国外に転出した方もマイナンバーカードが利用できるように戸籍住基システムを改修するため。

○雑入48万7,000円の増額のうち27万円は、資源物買取り料（段ボール）で、キロ1.5円の180トン分。

○清掃費の塵芥処理費1,641万6,000円の増額は委託料1,026万8,000円で、水質分析検査委託料34万8,000円、粗大ごみの水質検査を1か所4回から4か所4回に増やすため。

○シルバー人材センター委託料22万円は、粗大ごみ置場のごみの

分別のため。

○備品購入費394万8,000円の増額は、フォークリフトとチェンソーの購入費。

《教育委員会事務局所管分について》

○歳入の総務費国庫補助金3,718万円の増額のうち3,080万円は新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金で、GIGAスクール構想事業費の補助金。

○中学校費の使用料及び賃借料103万円は、中学3年生教室の空調リース料。

○図書館費の需用費41万9,000円の増額は、トイレ等の修繕料。

○旧学校管理費30万円の増額は、旧坂嶺小学校の体育館入り口ドアの修繕料。

○保健体育総務費32万円の増額は、町グラウンドトイレ等の修繕料。

以上で審査を終了し、当委員会

は、討論なく、議案第44号、令和2年度喜界町一般会計補正予算（第4号）は可決すべきものと決定いたしました。

産業福祉常任委員会



産業福祉常任委員長 安田英次郎

令和2年8月27日の第3回定例会において、当委員会に付託されました議案第44号から49号までの審査が終了いたしましたので御報告申し上げます。

提案理由につきましては町長より説明を受けましたが、さらに詳細な審議を必要とするため、産業福祉常任委員会を開催し、全員出席の下、審査期間を8月28日の1日間と定め、議案説明のため所管課長の出席を求めて審査を行ったところです。議案第44号、令和2年度喜界町一般会計補正予算（第4号）は、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ10億415万1,000円を追加し、歳入歳出予算

の総額を歳入歳出それぞれ82億2,946万4,000円とするものです。

《農業振興課所管分について》

○県補助金の農林水産業費県補助金173万7,000円は、第1次産業の振興と移住者・Uターン受入れ促進事業で、支援センターでトラクターを導入し、新規就農者の育成を計画するもので、県の2分の1の補助。

○人・農地プラン推進支援事業補助金34万円は新規事業で、これまで意向調査やアンケートを実施、今後5年から10年後の農地活用について9地区を対象に話し合い活動を進めるため。

《まちづくり課所管分について》

○道路維持費の原材料費219万円は集落内道路の補修、修繕等です。港湾整備費の需用費57万8,000円は修繕料で、標識等の設置分です。補填及び賠償金の公営住宅建て替え移転費用の70万円は、新築用の引越し分。

《保健福祉課所管分について》

○国庫補助金、保育所等整備交付金3,931万5,000円は、当初、1億1,000万円の交付金でしたが、待機児童の解消加速化プラン交付金も保育所等整備交付金の中に含まれ、補助率2分の1から3分の2へ追加されたため。

○保健センター運営費の通信運搬費11万4,000円は、奄美病院との間で、感染症対策、台風等で医師が来島できない際にオンライン診療できるように整備するため。

○放課後児童クラブ運営事業費の修繕料24万円は、喜界児童クラブの空調修繕費12万円と、早町児童クラブの鉄棒の修繕料12万円です。手数料12万円は、早町児童クラブの登り棒の撤去費。

以上で審査を終了し、特筆すべき質疑・討論はなく、採決に入りました。異議なしと認め、議案第44号、令和2年度喜界町一般会計補正予算（第4号）は原案どおり可決すべきものと決定いたしました。

ふるさと寄附金(ふるさと納税) 13,750千円増額

令和元年一般会計補正予算10億415万円追加(総額82億2946万円)

◆ 補正予算の主なもの ◆

予算額(千円)

担当課	事業名	内容説明	予算額
企画観光課	ふるさと寄附金	ふるさと寄附金の増額によるもの	13,750
	加工販売施設運営費	軟水機等修繕料と敷地内の草刈委託料(シルバー人材)	1,020
	観光費修繕料	ムチャカナ公園の浄化槽入替えのため	927
	観光費基本設計委託料	空港臨海公園、総合運動公園、国立公園遊歩道、池治海水浴場の設計委託料	11,400
町民税務課	雑入(資源物買取料)	段ボール買い取りの歳入(180t×1.5円)	270
	塵芥処理費委託料	粗大ごみ置き場のごみ分別のため	2,220
	廃タイヤ処理委託料	廃タイヤをすべて撤去するため	5,000
	塵芥処理費購入費	フォークリフト、チェーンソーの購入費	3,940
教育委員会事務局	中学校費空調リース料	中学校3年教室の空調リース料	1,030
	図書館費修繕料	トイレの改修費	410
	保健体育総務費修繕料	町グラウンドのトイレ等修繕料	320
まちづくり課	道路維持費	集落内道路の補修修繕等	2,190
保健福祉課	保健福祉費	医師が来島できない際に奄美病院との間でオンライン診療を行うため	110

一般質問

町政のことが聞きたい

第3回定例会で2名の議員が町政全般にわたり一般質問を行いました。
質問と答弁を要約して紹介いたします。



質問する
生駒 弘 議員

子育て支援について

質問

国の定額給付金、一人一律10万円の対象は、4月27日までに生まれた子供が対象になっており、28日以降に生まれた子供は対象にならない。

女性にとって、妊娠・出産は、命を懸けた大変な労力。また、新型コロナウイルス感染症拡大の中で、出産や産後の育児など不安を抱えているのは一緒ではないか。喜界町独自の新たな基準日を設けてはどうかと思うが。見解を伺う。



生後1か月

答弁 保健福祉課長

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、出産する家庭を経済的に支援するため、4月28日以降に生まれたお子様にも、出産のための支援金として、定額給付金と同額を給付することとし、来年度以降実施を予定している。また、出産祝金や出産時宿泊費助成の拡充を図るなど、今後母子育て支援に取り組んでいく。



質問する
良岡 理一郎 議員

新型コロナ対策強化を

質問

水際対策の現状、PCR検査体制の拡充、民間医院閉院対策、医療機関への経営支援、コロナ禍での自然災害対策、コロナ対策財源としての財政調整基金について伺う。

答弁 保健福祉課長 総務課長

① 旧盆を控え、広報紙、ホームページ、防災行政無線、空港でのチラシ配布で健康観察、来島自粛、高齢者等への配慮を呼びかけている。

本町から出る場合も旅行先について慎重な判断を要請している。

② 航路、航空路については検温を行い37.5度を基準に航路は乗船できず、航空路は、改めて電話で体調の確認を行っている。

③ 現在のところ症状が悪くなるケースは出ていない。
④ PCR検査は当初、結果が出るまで船便で5日ほど要していたが、現在は航空便で3日ほどと改善されている。

本町でのPCR検査体制の整備については引き続き国・県に要望している。

⑤ 民間医院の閉院は、医療提供体制への影響が懸念される。診療所の拡充は医師との調整もあり直ちに対応できる状況にない。

今後については、徳洲会病院、診療所の受け入れ体制、キャパ

シティーを考え、密に連絡を取りながら対応していきたい。
④ 全国的にはコロナ患者を受け入れた多くの医療機関が赤字であると報道されている。本町の医療機関でも、院内感染の恐れから受診を控える患者が増加したことや消毒や防護服の支出などから厳しい状況であるとのこと。

⑤ 国は緊急包括支援交付金を創設して環境整備費用等を助成している。町としても地方創生臨時交付金を活用して感染症対応の支援をしている。

⑥ 自然災害対策について避難所における備品・消耗品について本町の準備が遅れているかのような新聞報道があったが、備品の置き場の認識で行き違いがあったが、庁舎内で備蓄品の確保は出来ている。

また、大規模災害時におけるボランティアの確保と関係機関との協議は国、県の機関、民間団体とも災害協定を結んでいる。今年はやフー(株)と情報発信協定、島内ホテル業組合とも締結している。大規模災害時は社会福祉協議会が窓口となっており



ランテイヤセンタ―を立ち上げる。

⑥ 財政調整基金の残高は17億9,500万円。ただし、すでに当初予算、補正予算で4億2,000万円を財政調整基金から繰り入れている。今後の重要施策への備えも必要である。

コロナ対策における財政調整基金の活用については感染状況、経済状況を総合的に勘案しながら必要な措置を講ずるべきと考える。

共同墓は町民の意向調査を急ぐべき

質問

少子・高齢社会の本町でも墓の維持・管理が困難になっている。町営の共同墓を望む声も増えてきている。町内全世帯を対象に町民の意向調査を実施したらどうか。

答弁 町民税務課長

町としては集落が主体となって共同墓を考えていただく方が望ましいと考えている。アンケートは今のところ考えてないが、区長会と相談したい。

町長と町民の懇談会を実施すべきでは。

質問

自治体と住民が情報を共有して、同じ問題意識で自治体を経営する重要性は多くの専門家が指摘している。町民の声を活かす町政運営が大切である。

事例として喜界馬の復活、珊瑚研に関心を持つ高校生の留学など素晴らしい取り組みである。

かつての町長と町民の車座での行政懇談会を望む声もある。懇談会を実施すべきではないか

答弁 企画観光課長

行政懇談会について、平成23年以前は、全課長同席のもと各集落巡回方式で行っていた。その後は集落の要望に応じ随時対応を行い、集落担当職員を配置して連絡を密に行っている。

答弁 町長

私が、次の町長に行政懇談会をやれとの話は出来ない。

議会のうごき(9月~12月)

- 9月 3日 …… 決算審査特別委員会 (説明・審議)
- 9月 4日 …… 決算審査特別委員会 (説明・審議)
- 9月11日 …… 令和2年第3回喜界町議会定例会 (最終本会議)
令和元年度決算審査特別委員会 (現地調査)
- 9月23日 …… 燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会実行委員会総会 (議長)
- 11月 2日 …… 臨時議会 (正副・所属委員会改選)

ご案内

次の議会は、12月上旬を予定しています。

午前9時30分 開会 皆様の傍聴をお待ちしています。

また、喜界町ホームページでは、議会開会中の模様をインターネット中継でご覧いただけます。

(動画配信サイトで「喜界町議会定例会」を検索していただき、録画もご覧いただくことができます。)

お問合せ 喜界町議会事務局 電話 65-1115



「4年の任期を終えて」

先日開催されました喜界町長・喜界町議員選挙において、隈崎新町長、現職の8名、新人4名の議員が当選されました。4年に1度の町民の審判を受け、町長は行政運営、議会はその監視の役目を担うのですが、同時に町民の声を行政運営に届ける役目がございます。議会の一般質問で当局へ問いただし訴える手法、担当課へ出向き直接相談する手法などあります。皆様の清き1票を投じていただき当選された議員にはこの様な重要な役目がございます。この様な議員の活動を町民にお知らせする役目が「喜界町議会だより」です。編集には担当職員1名と6名の議員がたずさわりますが長い文章、議会の審議状況をいかにしてまとめるか至難の業です。町民の皆様を読んで頂けるような内容、表現に日々奮闘された編集委員の皆様4年間お疲れ様でした。

喜界町議会議長 外内 千里

編集後記

今年は新型コロナウイルスで町の行事や集落の行事がのきなみ中止となる中、20年ぶりの町長選挙・町議会議員選挙がありました。

新町長新議員の中に4名の新人議員が加わり新町長の元、町行政運営をしっかりとかじをとりながら議員全員で町民の為に頑張つてまいりたいと思います。未だにコロナウイルスの収束が見えない中、対策をとり、コロナに負けないよう頑張つてまいります。



- 文責 河上 弘仁
 - 委員長 生駒 弘
 - 副委員長 河上 弘仁
 - 委員 良岡 理一郎
 - 委員 野間 弘也
 - 委員 峰山 恵喜光
 - 委員 榮 優太
- 喜界町議会広報委員会